

「交通安全。アクション 2021 新宿」

2年8カ月ぶりに実開催

新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底



会場に展示されたサポカー。左からホンダ「VEZEL」、トヨタ「MIRAI」、日産「LEAF」

「交通安全。アクション」は2001年以来、毎年行われてきましたが、コロナ禍により2020年は開催が見送られました。2021年も春の実施予定が延期され、「交通事故死者数ゼロ」実現を目標として取り組んでいる当会議所としては、「アクション2021」開催に向けてタイミングを見計らってきました。その結果、開催当時はいわゆる“第6波”の兆候は見られず、首都圏では感染者数が低い水準を維持していたことから、2年8カ月ぶりに実開催する運びとなりました。

「アクション2021」開催に当たっては、体温測定カメラやアルコール消毒設備が配置された出入口を数カ所に設け、人数管理をするなど業種別ガイドラインに従い、東京都が推奨する感染予防チェックリストに基づく対策を行いました。

◇実施概要は次のとおりです。

【開催日時】

2021年12月4日（土）・5日（日） 2日間

・4日（土） 12:00～17:00

・5日（日） 11:00～16:00

【開催場所】

新宿駅西口広場イベントコーナー

（東京都新宿区西新宿一丁目地先）

【主催】

日本自動車会議所・警視庁新宿警察署

【開催趣旨】

官公庁、自動車関連業界が連携するイベントとして、業界に共通する課題である「交通安全に向けた取り組みをアピールするとともに、広く一般社会の人々を対象とした参加体験型イベントの開催を通じて交通安全意識の高揚と啓発を図る。

【開催目的・テーマ】

高齢者・家族を対象に体験を通じて交通社会のルールや安全行動の大切さを啓発する。

【安全／感染症対策】

新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、運営者、参加者の感染予防に留意してイベントを開催する。

- ・会場出入口を限定し、体温測定器・手指消毒液の設置
- ・ドア解放による換気向上
- ・密にならないよう、会場内の定期的な巡視
- ・各ブースのイベント用機器の消毒の徹底
- ・相談ブースに仕切り設置
- ・各ブース整列区画、床にガイド設置（ソーシャルディスタンス確保）
- ・感染拡大防止啓発ポスターの掲示
- ・東京都の「新型コロナ見守りサービス」のQRコードを入口に掲示し、サービスの活用を入場者に声掛け

ほか

「交通安全。アクション2021 新宿」

会場風景



会場出入口では、東京都の「新型コロナ見守りサービス」のQRコードを掲示し、サービスの活用なども案内



電動カート展示
(セリオ)



自転車シミュレーター
(東京都都民安全推進本部・日本交通安全教育普及協会)



贈いの日々
(東京都交通安全協会)



渋滞シミュレーター
(東京都都民安全推進本部)



休日家族相談会
(東京都都民安全推進本部)



俊敏性タッチパネル
(東京都都民安全推進本部・日本交通安全教育普及協会)



四輪シミュレーター
(東京都都民安全推進本部・日本交通安全教育普及協会)



歩行者シミュレーター
(東京都都民安全推進本部・日本交通安全教育普及協会)



ナスバギャラリー IN 東京
(自動車事故対策機構/NASVA)



運転年齢診断
(日本自動車会議所・イーティエフ)



子ども安全免許証
(日本自動車連盟/JAF)



ケーブルテレビ放送局の取材にマイクを持って答える参加者。右は記念撮影をする参加者の家族

自工会など自動車関係5団体が年始メッセージ 「私たちは、できる」をテーマにテレビCMやYouTube、新聞広告などで展開 当会議所HPでもバナーを掲載し拡散に協力

日本自動車工業会など自動車関係5団体（自工会、日本自動車部品工業会、日本自動車車体工業会、日本自動車機械器具工業会、日本自動車販売協会連合会）は1月1日から、「私たちは、できる」をテーマに自動車業界の年始メッセージ「#クルマを走らせる550万人」

をテレビCMやWeb動画（YouTube）、新聞広告などで展開しています。テレビCMのベースとなるWeb動画は約2分。コロナ禍にあっても、「この国の移動や物流を支えたのは自動車業界550万人の力だ」として「550万人の仲間」へエールを送っています。